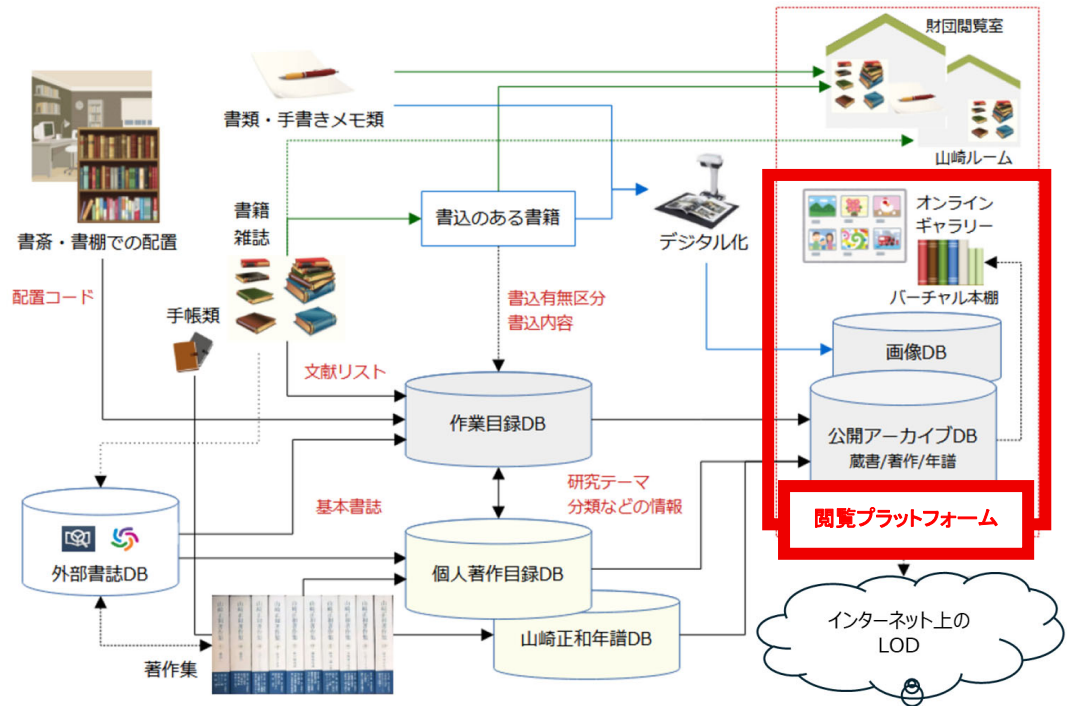


別紙①

〈山崎正和アーカイブ全体像〉



別紙②

〈山崎正和アーカイブ 閲覧プラットフォーム構成〉

The screenshot shows the homepage of the Masahiko Yamazaki Archive. The header includes the site name '山崎正和アーカイブ' and navigation links: '山崎正和プロフィール', 'ギャラリー', 'お知らせ', 'ヘルプ'. Below the header is a banner with the title '山崎正和の思考への扉' and a brief description. The main content area is divided into two columns. The left column, titled 'データベース', contains sections for 'アーカイブ所蔵品' (with sub-sections '蔵書類データベース' and 'デジタルアーカイブ') and '山崎正和の活動' (with sub-sections '著作リスト' and '年譜・出来事'). The right column, titled 'ギャラリー', contains a section '蔵書と世阿弥の世界' and a 'ギャラリー' section. Annotations with arrows point from text boxes to specific parts of the site: one points to the 'データベース' header, another to the 'アーカイブ所蔵品' section, and a third to the 'ギャラリー' section.

山崎正和アーカイブ

山崎正和プロフィール ギャラリー お知らせ ヘルプ

蔵書類データベース デジタルアーカイブ 著作リスト 年譜・出来事

山崎正和の思考への扉

山崎正和の残した蔵書・資料等をデータベース化するとともに、可能なものはデジタル化し、研究などに活用できるように公開するアーカイブです。

お知らせ | 山崎正和シンポジウムを開催 2025年6月18日更新

データベース

アーカイブ所蔵品

蔵書類データベース
山崎正和の蔵書目録です。検索のほか、一部の書棚はバーチャルで再現しています。

デジタルアーカイブ
アーカイブ資料から書込みなどがある蔵書のページをデジタル化。

山崎正和の活動

著作リスト
山崎正和の全著作書誌、初出など掲載情報をデータベース化しました。一部はデジタルアーカイブとも連動します。

年譜・出来事
山崎正和の主な活動をデータベース化しました。年譜表示、キーワードでのイベント検索ができます。

ギャラリー

蔵書と世阿弥の世界
初期の代表作『世阿弥』の誕生と世界での上演をインフォグラフィックで紹介。

山崎正和の蔵書
デジタル化資料選定の経緯と山崎正和の蔵書傾向を紹介。

アーカイブの構成と使い方
どのような構成で互いにつながるか、検索と使い方を紹介。

蔵書から作品へ
蔵書の書込みから作品への繋がりを「注釈モデル」で説明。

ギャラリー一覧を見る

「データベース」
〈アーカイブ所蔵品〉

■蔵書類データベース

山崎正和の蔵書目録。一部の書棚はバーチャルで再現しています。

■デジタルアーカイブ

アーカイブ資料から書込みのある蔵書ページをデジタル化

〈山崎正和の活動〉

■著作リスト

山崎正和の全著作書誌、初出など掲載情報をデータベース化

■年譜・出来事

山崎正和の主な活動をデータベース化。年譜などで表示。

「ギャラリー」
アーカイブのデータベースに含まれる情報を中心に、さまざまな切り口でコンテンツおよび使い方をご紹介します。

別紙③

〈山崎正和アーカイブ閲覧プラットフォームの特長〉

■国際標準に則ったオープンなデータベース

山崎正和アーカイブのデータは国際標準に則って記述されており、多様な情報を柔軟に表現するとともに、外部データとの相互運用を実現しており、L O D^{※1}として国立国会図書館典拠、Wikidata、ジャパンサーチなどの外部データベースともリンクしています。

※1 L O D (Linked Open Data) は、データをウェブページと同様にリンク可能にする Linked Data 原則によって提供されるオープンライセンスのデータです。Linked Data とは、データの I D (ウェブページで言えばURL) を用いてウェブ上からそのデータを取得でき、さらにその中に記述された別のデータ I D を連鎖的にたどっていけるようにする方法です。WWWの発明者であるティム・バーナーズ＝リーが提唱し、世界の美術館、博物館、図書館、文書館や生命科学分野のデータ記述に用いられています。

■情報を多角的に提供する閲覧プラットフォーム

アーカイブのデータベースは、各セクション扉ページにキーワード検索機能を用意します。詳細検索 (S P A R Q L) を用いると自由な検索が可能です。検索結果から個別データ詳細を共通の形で表示するとともに、それぞれの特徴にあわせた閲覧機能も用意しています。

蔵書類データベースでは「バーチャル書棚」を提示します。これはカタログ情報を用いて分類した仮想背表紙をつくり、整理時に記録した収録書架情報に基づいて復元配置したものです。本の並びからもさまざまなことが読み取れます。

蔵書類のうち書き込みがあるページをデジタル化したデータは、1冊のデジタル化画像をまとめてI I I F^{※2}ビューアで閲覧できます。また書き込みの一部をウェブ注釈モデルで記述し、ビューア上でハイライトしたり、つながりを図示したりする機能も試験導入しています。

著作リストは、主要著作の出版リストを(1)カテゴリ別、(2)初版の出版年代別、(3)NDCの大分類別の3つの切り口で提供します。出版物の詳細から、掲載されている著作のデータや蔵書データへと進んでいくことができます。

年譜・出来事データベースは、生涯の主要な出来事をスクロール可能な年譜上に表示します。また山崎正和氏が残した手帳の記載を順次データベース化しており、これは月間カレンダーの形で閲覧できます。手帳の執筆過程の記述から著作データへとといったつながりも辿ることができます。

※2 I I I F (International Image Interoperability Framework) は、一貫した形での画像アクセスを可能にし、相互運用性を確保するための国際標準です。画像取得だけでなく拡大や回転、一部分の切り出しなどを共通の方法で利用でき、同じビューアで世界のI I I F準拠サーバーの画像を閲覧できます。

■ギャラリーによるコンテンツの紹介

山崎正和アーカイブのコンテンツに広く接していただくため、検索・閲覧機能と並行して、ギャラリーを設けています。ギャラリーは大きく「コンテンツ紹介」と「使い方シリーズ」に分けて提供していく予定です。

コンテンツ紹介は、テーマに沿ったコンテンツや隠れたつながりのあるコンテンツを取り上げ、アーカイブからの画像とともに紹介していきます。アーカイブ公開時点では「戯曲：世阿弥の世界」と「山崎正和の読書：デジタル化資料選定者の眼」を用意しています。

使い方シリーズは、やや複雑な構造を持つアーカイブをどのように利用できるかの具体的方法を取り上げます。「アーカイブの構成と使い方」は構造の図解、扉ページの構成や検索機能について説明します。「蔵書から作品へ」では、ウェブ注釈モデルを説明しながら、蔵書の書込みから作品までの結びつきを辿っています。

「バーチャル書棚：知識空間の再構成」では、山崎正和氏の書棚を仮想再現したバーチャル書棚について説明します。